

科目名	体育	単位数	3	学年	2	コース	女子	必選別	必修
教科書	現代保健体育（大修館書店）			副教材等	なし				

1 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	心と体は互いに影響して変化することに気づき、体の状態に応じて調子を整えるために運動したり、仲間と積極的に交流したりするための運動を行う。	行動観察	
5	選択① B 器械運動	ア マット運動	器械運動、球技、武道から2領域を選択する。 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技する。 <ul style="list-style-type: none"> 伸膝前転 倒立前転 伸膝後転 ロンダート 前方倒立回転跳び 	行動観察 ワークシート スキルテスト	
6		E 球技	ア ゴール型 サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開する。 ア ゴール型 <ul style="list-style-type: none"> ゴールの枠内にシュートをコントロールする。 	行動観察 ワークシート スキルテスト
7			イ ネット型 テニス	味方が操作しやすいパスを送る。 イ ネット型 <ul style="list-style-type: none"> サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。 ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す。 	
	F 武道	イ 剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> 基本動作、しかけ技、応じ技 	行動観察 ワークシート スキルテスト	

9	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	心と体は互いに影響して変化することに気づき、体の状態に応じて調子を整えるために運動したり、仲間と積極的に交流したりするための運動を行う。	行動観察
	選択②		球技の3つの型と武道から2種目選択する。	
10	E 球技	ア ゴール型	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開する。	行動観察
11		バスケボール		ワークシート
12		イ ネット型	ア ゴール型	スキルテスト
		卓球	・ゴールの枠内にシュートをコントロールする。	
		ウ ベースボール型	・味方が操作しやすいパスを送る。	
		ソフトボール	イ ネット型	
			・サービスでは、ボールをねらった場所に打つ。	
			・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す。	
			ウ ベースボール型	
			・体の軸を安定させてバットを振り抜く。	
			・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえる。	
	F 武道	イ 剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開する。	行動観察
			・基本動作、しかけ技、応じ技	ワークシート
				スキルテスト
	H 体育理論	運動やスポーツの学習の仕方	運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになったこと、また、学習の段階に応じた練習方法があることを理解する。	ワークシート
		ア) 運動やスポーツの技能と技術		レポート分析
		イ) 運動やスポーツの技能の上達過程		
	選択③		陸上競技、ダンスから2領域を選択する。	
1	C 陸上競技	ア 競走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高める。	行動観察
2		長距離走		記録計測
3			・自己に適したペースを維持して走る	
	G ダンス	ウ 現代的なリズムダンス	感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表をする。	行動観察
				ワークシート
	H 体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	スポーツは各ライフステージにおける身体的,心理的,社会的特徴に応じた楽しみ方があることを知る。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを知る	ワークシート
				レポート分析

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしているか。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫しているか。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫しているか。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけているか。
知識・理解	運動の技能の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解しているか。

4 評価の方法

体育への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、運動の技能、知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

集合・整列・挨拶などの集団行動をきちんと行う。用具・施設の管理を的確に行う。これらの事をふまえた上で積極的に授業に臨みましょう。